

令和 6 年度 介護職員/福祉・介護職員等処遇改善加算の職場環境等要件

区分	内容	当法人としての取り組み
入職促進に向けた取組	④ 職場体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	学校での職業体験イベントに講師として参加、市民フォーラムなどの在宅医療啓発イベントに運営として参画し活動している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑥ 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	研修受講（法人実施の研修や外部研修等）も含めて各職員は年間個人目標を立て、同僚とのコンピデンスー評価や上司面談を実施。キャリア・パスへの反映、人事考課を行っている。
	⑦ エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	ストレスチェックの実施とメンタル面の相談窓口を設置している。上司や先輩職員が業務の相談やメンタルサポートを行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	⑪ 有給休暇が取得しやすい環境の整備	法人として有給休暇の取得目標を決め、定期的に確認、取得に際して上司からも積極的声掛けを実施。休みを取りやすい雰囲気づくりを意識している。
	⑫ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	福利厚生制度・メンタルヘルス・ハラスメント等の職員相談窓口を設置。産業医との面談もしやすい体制をつくっている

腰痛を含む心身の健康管理	⑭ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	短時間勤務の職員も希望があれば健康診断やストレスチェックを受けることができる。また休憩室や食堂などを設置し休息を取りやすくしている。
生産性向上のための業務改善の取組	⑰ タブレット端末やインカム等の ICT 活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	情報・記録の入力にタブレット端末を活用し、またセンサー等の介護機器を導入し業務量の軽減に努めている。
	⑳ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報の共有や作業負担の軽減	必要に応じて業務手順書を作成し、各種報告書等については常に書きやすいよう工夫をしている。また、ビジネスチャットツールを利用し職員間の情報共有の円滑化を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	㉑ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	事業所毎の定期ミーティングで日々のケアや業務改善について話し合っている。また法人全体でも週1回の全体ミーティング等にて共に学びながら職員間のコミュニケーションの活発化を推進している。
	㉒ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	町内会活動、地域のお祭り（盆踊り・子供神輿等）、地域のイベント（音楽会や夏祭り）に参加し積極的に地域との交流を図っている。